

H

High school



伝統の後継者として努力を

猪苗代高等学校（新田銀一校長）の入学式は4月8日、同校体育館で開催され、普通科39人、国際観光科35人が晴れの日を迎え、新たな学びの門をくぐりました。

新入生一人一人の名前が呼ばれた後、新田校長が全員の入学を許可し「中学校の先生方やご両親への感謝の気持ちを忘れることなく、先輩たちが受け継いできた輝かしい伝統を守る後継者として、進んで自分の道を切り開いていく精神を持ち続けてほしい」と式辞。

新入生を代表し小林沙樹さんが「郷土の偉人野口英世のように失敗を恐れず、粘り強く、温かい心を持った人間を目指し、夢と希望を持ち精一杯努力していく」と誓いの言葉を述べました。

「英知、忍耐、勤労」の素晴らしい校訓のもと、文武両道を目指して頑張ってください。



写真上 晴れの日を迎えた74人の生徒たち。式では若干の緊張が見られましたが、その目は未来への期待に輝いていました

写真下 誓いの言葉を述べる新入生代表の小林沙樹さん

E

lementary school



真新しいランドセルで登校

町内の小学校の入学式は4月6日、各小学校で開催されました。

長瀬小学校（江川浩校長）では、新入生18人が希望を胸に小学校生活をスタート。

マーチングが盛んな長瀬小学校らしく演奏で新入生を歓迎。新しい仲間を大きな拍手で迎えました。

新入生一人一人の名前が呼ばれ入学を許可されると江川校長が「小学校では元気よく、大きな声であいさつをしましょう」と式辞を述べました。

在校生を代表して2年生の児童らが「学校はとても楽しいところです。漢字や計算も習います。わからないことがあったらなんでも話してね」と歓迎の言葉を述べると、新入生たちの緊張も少しほぐれた様子でした。

教室に戻った新入生たちは、まだ少し大きめなランドセルを前に楽しそうに笑っていました。



写真上 マーチング演奏で新入生を迎える長瀬小学校の上級生。下級生はこの姿に憧れます

写真下 新入生を代表して文房具を受け取る高橋玲乃くん

スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO



雪だるまのプレゼントだよ

中ノ沢保育所の児童ら5人は4月17日、いわき市のアクアマリンふくしまを訪れ、セイウチに雪だるまのプレゼントをしました。

暑さが苦手なセイウチに、暑い季節を乗りきってもらおうと始めたプレゼントも今年で9回目。安部義孝アクアマリンふくしま館長、津金町長のあいさつの後、児童らが「セイウチさんに雪をあげてください」と安部館長にミニ雪だるまを手渡しました。

目にはエビ、キバにはホッケなどをあしらった雪だるまが水槽に入ると、セイウチは雪だるまに突進。一心不乱にかじりつく様子を見て児童らも「食べてる」「セイウチおっきいね」と喜んでいました。

小板橋柊矢くん（写真上 中央）は、せいうちさんという人に雪をあげると思っていたらしく、会場であれが「セイウチ」だよと教えられてびっくりしたそうです。



写真上 5人の児童らと左から本多先生、安部館長、津金町長、秋山所長

写真下 テレビに取材された児童らはテレビカメラに緊張気味。笑顔で質問に答えるのは芳賀咲良くん



友だちたくさんできるかな

町内の幼稚園の入園式は4月8日、各幼稚園で一斉に開催され、新入園児らが楽しい幼稚園生活をスタートさせました。32人が入園した猪苗代幼稚園（本多勝男園長）では、一人一人の名前が呼ばれると、園児が元気よく手を挙げながら「はい」と返事をする姿が見られました。

本多園長は「幼稚園はいっぱい遊べて楽しいところ。早くみんなで仲良しになってください。」とあいさつ。その後山本教育委員と津金町長が祝辞を述べました。

会場にはビデオカメラなどを手にした保護者らが、大勢詰め掛け、成長したわが子の姿に目を細めていました。

お父さん・お母さんに元気よく手を振っていた新入園児の八木和真くんは「幼稚園で友だちをいっぱい作って遊びたい」と話してくれました。



写真上 先生に手を引かれ、みんなで一緒に入場。これからいっぱい楽しいことが待っています

写真下 名前を呼ばれて元気よく「はい」と返事をする八木和真くん

N

ursery school

K

indergarten